

京都ルネス病院の病床機能変更について

看護師の人手不足は、大きな課題となっている。看護師業務負担や夜間看護体制を整え病床運営の適正化を図るため、病床機能を見直す。

1. 理由

- ・ 昨年から看護師の離職が多くなってきており夜間看護体制維持が厳しくなってきた。
- ・ 現在、産休者 5 名、これから出産を迎える看護師が 4 名、計 9 名が存在。
- ・ 上記を踏まえ、同一階にある 2 病棟を 1 病棟に統合する事により夜間看護配置を縮小する必要がある。

2. 病床数変更内容

変更前：現在 4 階の急性期病棟（29 床）、回復期病棟（24 床）の 53 床で運用。

変更後：回復期病棟を廃止。急性期病棟に統合し 53 床で運用を図っていく。

※病床機能は、急性期病棟は回復期機能として報告しており回復期機能の変更はありません。

診療機能は低下させず、地域の医療需要に対し、柔軟に対応できるよう病院運営を図っていく。

3. 実施時期

令和 8 年 3 月 1 日